

1. 必読文献

- (1)ピーター・M・センゲ著「学習する組織—システム思考で未来を創造する—」英治出版株式会社 2011 年 6 月 20 日刊
* “The Fifth Discipline — The Art and Practice of the Learning Organization —” by Peter M.Senge.
- (2)エイミー・チュア著「最強国の条件」講談社 2011 年 5 月 10 日刊
* “Day of Empire” by Amy Chua
- (3)A・G・ランフリー、ラム・チャラン著「ゲームの変革者—イノベーションで収益を伸ばす—」日本経済新聞出版社 2009 年 5 月 22 日刊
* “The Game Changer — How You Can Drive Revenue and Profit Growth with Innovation —” by A・G・Lanfley and Ram Charan
- (4)吉田賢抗著「論語」新釈漢文体系、明治書院刊
- (5)原田種成著「貞観政要」新釈漢文体系、明治書院刊
- (6)石田梅岩著「都鄙問答」岩波文庫、岩波書店刊

2. 参照すべき H. P.

- (1)公益社団法人「経済同友会(東京)提言・報告書」www.doyukai.or.jp/index.html
- (2)「ポーター賞」、一橋大学大学院 国際戦略研究科、受賞企業・事業部レポート、2001～2013 年 www.porterprize.org
* 2008 年マニー株式会社が受賞
- (3)「OECD 東京センター」、パリ本部サイト www.oecd.org/tokyo
- (4)「経済産業研究所(RIETI)」www.rieti.go.jp
- (5)「開倫塾 林明夫、書き抜き読書ノート」www.kairin.co.jp

3. 参考となるイベント

11 月 6 日・7 日の「第 2 回世界 5S サミット」(足利市地場産センター)

4. レポートの提出について

毎回の講義内容についてレポートを提出してください。

- (1)テーマ「この講義から学んだこと、考えたこと」
- (2)形式 ワードで 800～1000 字、横書き
*できれば 1 枚にまとめてください。

(3)授業の翌週の月曜日夜までに事務局にメールで御提出ください。

| |
|-----------|
| 1. _____ |
| (1) _____ |
| (2) _____ |
| ① _____ |
| ② _____ |

5. この一連の講義を通じて学んだこと、考えたことを 1 人 5 分間で 1 月 28 日(水)に発表して頂きます。

1000 字にまとめて、講義の前日 1 月 27 日(火)の夜までに事務局にメールで御提出ください。

6. 2 月 1 8 日(水)の最終講義は、キヤノン専務取締役小澤秀樹氏です。

以上

よろしく願いいたします。

開講科目／概要

科目

グローバル マネジメント

企業経営者やものづくり・ことづくりの経営幹部や経営幹部を目指す方たちにとって、将来にわたって必要となるグローバルな経営とは何か、そのためのイノベーションとは何か、さらに、グローバル社会における企業としての社会的使命、存在意義を見据えつつ、ガバナンスや組織作りは何か、などを目標に、高い志を持つグローバルなリーダーとして活躍するうえで必要となる基本的な心構えとノウハウを半年間で学修します。

グローバル化とは何か、グローバルな組織づくり、日本の本社と現地法人との役割分担、製品、商品、サービス開発、リーダーシップとは何かを世界で御活躍中の講師の皆様と一緒に考えます。

講義は、全8回で、1回は90分×2回で構成します。前半は講義とし、後半はこれをベースに、質疑応答などのディスカッション、意見表明などのプレゼンテーションを通して、グローバルな経営能力育成を目指す全員参加型プログラム方式による講義を行います。

コーディネータ：林 明夫

講義演題と講師

10/1,1/28 グローバル・イノベーションと グローバル・人財マネジメント・リーダーシップとは

林 明夫 (株)開倫塾 代表取締役社長、宇都宮大学大学院客員教授

慶應義塾大学法学部法律学科卒。世界銀行研究所、ハーバード大学行政大学院国際開発研究所で各々公共部門の民営化短期集中コース修了。マニー株式会社顧問、元社外取締役。開倫塾は栃木県経営品質賞知事賞(2002年)、ハイサービス日本300選(2009年)受賞企業。公益社団法人経済同友会(東京)幹事。本講座コーディネータ。

10/1,又は,2/18 キヤノンのイノベーションとグローバル経営、とりわけ中国・アジア戦略・リーダーシップとは

小澤 秀樹 キヤノン(株)専務取締役、キヤノンアジアマーケティング社長、キヤノン(中国)有限公司 社長、宇都宮大学大学院客員教授

慶應義塾大学法学部法律学科卒。キヤノン入社後、カメラ国内セールスに携わり、Canon USA, Inc.のカメラ事業部、キヤノン(株)カメラマーケティング部、Canon Singapore Pte. Ltd.カメラ事業部部長に就任。Canon Hongkong Co., Ltd.社長、Canon Singapore Pte. Ltd.社長を経て、現在、キヤノンアジアマーケティンググループ社長兼キヤノン(中国)社長。グローバルな企業発展と人材育成に寄与。

10/15 デュボンのイノベーション グローバル経営におけるリーダーシップとは

天羽 稔 デュボン(株)代表取締役会長兼 デュボン アジア パシフィック リミテッド 社長、宇都宮大学大学院客員教授

ワシントン州立大学工学部修士課程修了。デュボンファーイースト日本支社(デュボンジャパンリミテッドを経て現デュボン)入社。エンジニアリング ポリマー事業部長を経て、取締役兼アジア太平洋地域リージョナルディレクターに就任。副社長、社長を経て現職。公益社団法人経済同友会(東京)幹事。

11/12 日本信号のイノベーションとグローバル経営、とりわけ新興市場戦略・リーダーシップとは

降旗 洋平 日本信号(株) 代表取締役社長 兼最高執行責任者、宇都宮大学大学院客員教授

中央大学理工学部卒。日本信号入社。営業本部AFC営業部長、執行役員AFC事業部長兼ビジナリービジネスセンター長、取締役常務執行役員 ビジナリービジネスセンター・AFC事業担当、取締役専務執行役員 経営企画・ビジナリービジネスセンター・業務監査担当を経て、現職。就任後は国際事業部を設立し、日本メーカー初の鉄道システムの海外販売を達成。公益社団法人経済同友会(東京)幹事。

11/26 グローバル時代に於ける人と組織に関する戦略的発想・リーダーシップとは

小林 恵智 NPOヒューマンサイエンス研究所理事長、宇都宮大学大学院客員教授

国際基督教大学を経てウイン大学基礎総合哲学部卒、同大学院修士。モンリオール大学国際ストレス研究所特任研究員を経て、同大学医学部卒業。フロリダ州立大学で教育学博士号取得。ノースウエスタン大学で哲学博士号取得。米国国防総省国際戦略研究所に就任。CDIヒューマンサイエンス研究室室長、株式会社インタービジョン代表取締役会長を経て、多くの大学の非常勤講師や企業の非常勤取締役を歴任し、現職。公益社団法人経済同友会(東京)幹事。

12/3 ヘアカット専門店QBハウスのイノベーションと世界市場での挑戦・リーダーシップとは

北野 泰男 キュービーネット(株) 代表取締役社長、宇都宮大学大学院客員教授

大阪外国語大学卒。日本債券信用銀行(現あおぞら銀行)を経て2005年に当社に入社。財務部長、経営企画室長、専務取締役管理本部長を経て2009年より現職。国内480店舗、海外84店舗展開。公益社団法人経済同友会(東京)幹事。

12/17 サービス産業のイノベーションと海外展開への挑戦・リーダーシップとは

北川 浩伸 日本貿易振興機構(JETRO)生活文化・サービス産業部 生活文化産業企画課 課長、宇都宮大学大学院客員教授

慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程単位満期取得退学。日本貿易振興会(現日本貿易振興機構)入会。ジェトロロンドンセンター、企画部主査(経営企画担当)、海外調査部主任調査研究員、海外調査部グローバル・マーケティング課長等を経て現職。慶應義塾大学産業研究所共同研究員。早稲田大学トランスナショナル HRM 研究所招聘研究員。経済産業省サービス産業国際展開研究会委員。

1/14 グローバル人財・リーダーシップとは

吉村 幸雄 アフラック・インターナショナル・Inc. シニアアドバイザー、元世界銀行副総裁、宇都宮大学大学院客員教授

東京大学経済学部卒。大蔵省(現財務省)入省の後、経済協力機構、エジプト・イギリス両大使館書記官の勤務を経て、世界銀行日本代表理事代理、国際金融局国際機構課長、国際通貨基金(IMF)日本代表理事を歴任し、世界銀行副総裁に就任。国際経済の持続的発展に尽力。シティバンク銀行取締役などをを経て現職。

●全8回(1回:180分) 原則、隔週水曜日 18:40~21:50(講師の都合で日程が変更になる場合があります)